令和8年11月6日付茨城新聞に本校の記事が掲載されました

常陸太田の書店

中高生、本の魅力発信

太田一高・付属中 POP制作

常陸太田市の官民連携複合施設内「TSUTAYA BOOKSTORE 常陸太田」で、県立太田一高・付属中（同市栄町、上田英雄校長）の中高生が制作したPOPを展示している。並べた書籍は中高生が選び、本棚に配置した。中高生の感覚や目線を生かしたメッセージで本の魅力を発信している。



本の配置とPOPの設置に取り組む県立太田一高・付属中の生徒＝常陸太田市の東部土地区画整理事業用地内

POPは店頭で商品・サービスを簡潔に伝えるカード。読書週間に合わせ、生徒の愛読書などを紹介し、読書の推進を図ろうと取り組んだ。

9月に各教室などにPOP制作の案内を掲示したところ、中1～高3の生徒約60人が参加。児童書や小説、学習参考書などを選び、手描きやデジタルでPOPを制作した。内容の要約やキャッチコピーを付け、イラストで見た人の興味を引く工夫をした。

書店内には10月27日に中高図書委員4人が展示。児童書売り場近くに「太田一高生と中生　推し本大公開」コーナーを設け、同店員のアドバイスを受け、見せ方を工夫しながら、書棚に本やPOPを設置した。当初は約30点、11月末に一部を入れ替えて12月末まで計約50点を紹介する予定だ。

同高3年、長沼里奈さん(18)は「見やすさや興味を持ってもらえる並べ方を考え、POPの文字や色を工夫した。書店の裏の大変な努力を感じた」と話した。

同店書籍担当の田村沙織さん(35)は「POPは魅力を伝えることをよく考えていて、形なども工夫していた。いろんな年代にアピールするすてきな売り場ができた。本を通して交流の幅を広げてもらいたい」と期待した。

（飯田勉）